

校内委員会等での検討シートについて

「校内委員会等での検討シート」は、担任の先生が記入し、校内委員会や学年部会等で複数の教師で検討することによって、児童生徒の実態を共有したり、支援のアイデア等を出し合ったりするために使用します。

【手順】

- ① 担任が「児童生徒の最も気になること」や「実態」、「諸検査等の実施」などを記入します。
- ② これをもとに、校内委員会や学年部会等で、対象の児童生徒について情報交換や意見交換を行い、右欄に記入していきます。
- ③ 校内委員会等で検討した後、担任や教科担当者は、授業や児童生徒との関わり方の改善につなげましょう。
- ④ それでも難しい場合は、学びの場の変更について検討しましょう。

【 学校】		校内委員会等での検討シート		記入日(年 月 日)	
学年・学級	年 組	児童生徒氏名【 】		記入者【 】	
		担任が記入		校内委員会等での意見, 支援のアイデア等	
		【支援の程度】支援なし:0, 一部支援が必要:1, 適宜支援が必要:2, 頻繁又は常時支援が必要:3			
児童生徒の最も気になること	学習面, 情緒面, 行動面等				
実態	登校の状況	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> ① 担任が記入します。 様々な視点から記入することで、子供の新たな側面が見えてきます。 今まで行ってきた支援を振り返りましょう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> ② 校内委員会では、担任が記入したことについて、他の先生の異なる視点から見た児童生徒の姿や、支援のアイデア等を出し合います。主な意見等を記入しましょう。 </div>		
	身辺自立 (着替え, 排せつ, 食事, 手洗い, 準備・片付け等)				
	社会性・集団参加				
	情緒面				
	学習面(読む, 書く, 聞く, 話す, 計算する, 推論する)				
	運動面				
	コミュニケーション面				
教科の評定等					
関係機関からの情報, 連携状況	診断名, 医療・福祉等の機関名, 助言内容等				
諸検査等の実施	NRT等の学力の状況(実施年)				
	教研式サポートのISS(実施年)				
	個別式知能発達検査(WISC)等(実施年月, 実施機関)				